

福島県における水準調査について

○佐藤 暁久
(所属 福島県)

原子力規制庁では、原子力発電施設等からの環境への影響を把握するために、環境放射能水準調査を実施している。当該調査は全国 47 都道府県において実施されており、福島県においては環境創造センター福島支所がその分析業務を担当している。毎年実施されている当該調査において、定時降水調査の紹介と当所が実施した当該調査の結果についてとりまとめた。

2014 年度以降は同一の方法による定時降水調査を実施しているが、その結果を図 1 に示す。試料には降雨以外にも舞い上がった砂等の固形物が含まれるが、2018 年以降は固形物の混在状況を写真で記録している (図 2、図 3)。Cs-137 が検出された試料には視認できる固形物が含まれており、試料に混在している固形物に沈着している放射性物質が測定結果に与える影響が大きいものと推察された。

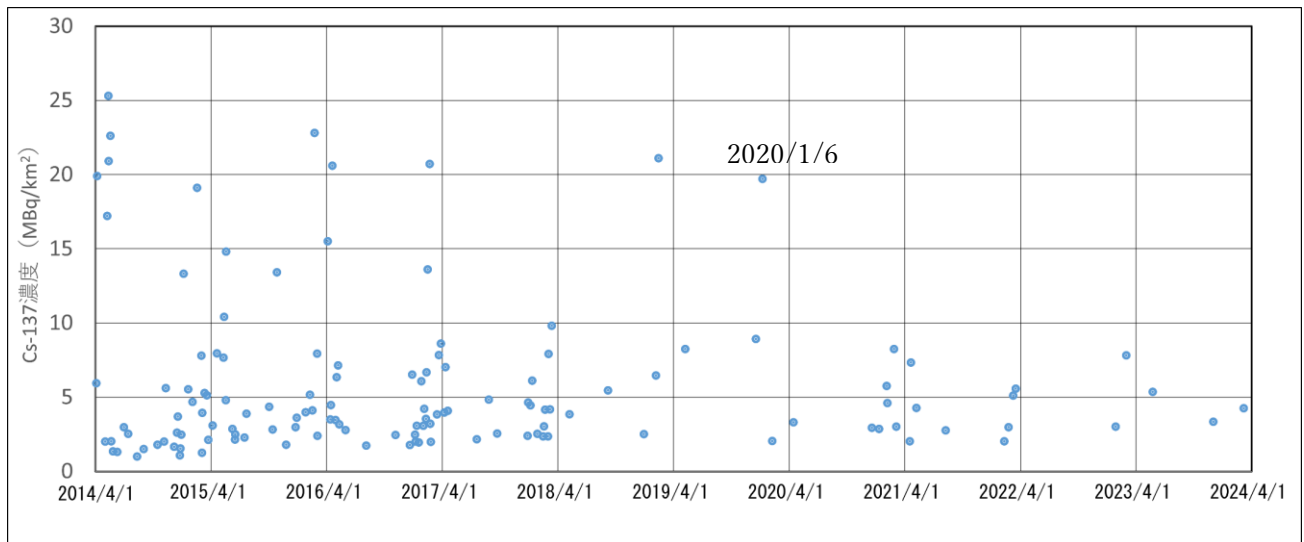


図 1 定時降水調査における Cs-137 濃度の推移



図 2 2020/1/6 の試料状況



図 3 2020/1/8 (不検出) の試料状況